

あしのうら

狼と踊る男

「ダンス・ウィズ・ウルブス」(1990年)。ケビン・コスナーが監督&主演し、ネイティブ・アメリカン(「インディアン」)を初めて白人と対等に扱った画期的な映画です。それまでの西部劇では、「インディアン」は常に粗暴な悪役であり、白人の「正義」が勝つというパターンが当たり前だった中で、この映画は賛否両論を巻き起こしました。

ケビン・コスナー演ずる白人の兵士がネイティブ・アメリカンの部族(スー族)と心を触れ合せていきます。彼は同じ「人間」として彼らと接するうちに、彼らの自然に対する畏敬の念や生き方に影響を受けるようになります。

スー族の生き方の底辺にあるのは、自然に対する畏敬の念です。「蹴る鳥」、「風になびく髪」、「拳を握って立つ女」など自然に関わる名前呼び合うのもその表れです。映画のタイトル「狼と踊る男」は、主人公に彼らが付けた名前。名前を付けられるということ自体が、白人である彼を認め受け入れたことを示しています。

文化や風習、宗教などが異なる者同士が、その違いゆえに対立するのではなく、共存していくためには、お互いに相手を知り、その上で「認め合う」ことが大切でしょう。ところが、それができないために、人間はこれまで他民族や他国を侵略し、戦争を繰り返してきました。「仲良くする」必要はありません。お互いの領分を侵さないようにして共に生きられればいいのです。

「生きる道は様々だが、大切なのは1つ。それが人としてあるべき道かだ」。スー族の「蹴る鳥」のセリフが印象的です。なぜ、人は認め合えないのでしょうか?今の世界の情勢に触れるたびに、つくづくそう思わざるを得ません。

(ケサランバサラン・63歳)

「てのひら」読んで 単位認定!

県民カレッジ学生の皆さんは、「てのひら」を読んで、所感を書くと、単位認定します。(1単位)



青森の 日常にみとれる 散歩道



青森市の青森港国際クルーズターミナル。ここには、今年合わせて41回も豪華客船が寄港します。今日は乗客定員が二千名を超えるCELEBRITY MILLENNIUM号が停泊し、多くの外国人が闊歩していました。世界を巡る大型客船を近くで見ると、旅行気分が高まります。

※このコーナーの写真を読者のみなさんから募集いたします。詳しくは、下記あおもり県民カレッジ事務局までお問い合わせください。掲載された方には記念品を差し上げます。

読者プレゼント

特集で紹介した竹林正樹先生が執筆した単行本「心のゾウを動かす方法」(扶桑社)を2名の方にプレゼントいたします。

- はがきに、
- ①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号
 - ②「てのひら」の入手場所
 - ③「てのひら」の感想を明記し、下記までお送りください。
- 11/29(土)消印有効
〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
あおもり県民カレッジ事務局 読者プレゼント係
※当選者については次号イニシャルで発表します。
(個人情報はプレゼント発送以外に利用することはありません)
第94号プレゼント当選者発表
おめでとうございます!
④K. H.さん(八戸市) ⑤M. M.さん(平川市)
⑥M. T.さん(青森市)

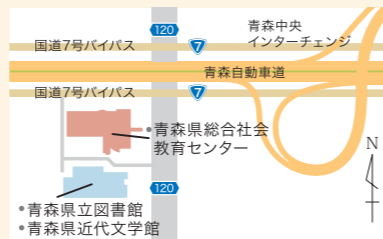


編集後記

竹林先生のお話は、メモをとる手を止めてしまうほど面白く興味深いものでした。聞いたことのない「ナッジ」という横文字、そして「理論」という言葉から難しい取材になりそうだと思っていたこと自体が「思い込み」だったことに気づき、目からうろこが落ちるとは正にこのことか!と合点がきました。

編集・発行 あおもり県民カレッジ事務局

〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県総合社会教育センター
指定管理者 学び・生かすあおもりグループ
電話 017-739-0900 FAX 017-739-2570
Eメール alis02@jomon.ne.jp
https://www.manabi-aomori.com



てのひらサイズの できることから始めよう

令和7年
第95号
AUTUMN
10・11・12月

学びの種をまく
あおもり県民カレッジ

特集 表紙・p2



行動の9割は直感的
直感に訴えて人を動かす

行動経済学研究者、青森大学客員教授 竹林 正樹さん(青森市)

勉強、健康づくり、断捨離、投資。頭では「やったほうがよい」とわかっているはずなのに、いざ実行しようとなると、直感的に「別に今でなくてもよいよね」と後回ししたくなります。人間の直感とは本能的で力強くコントロールが難しいことから、「ゾウ」に例えられます。ゾウのように一筋縄にはいかない直感でも、科学の力で行動へと繋げていく手法が開発されました。それが「ナッジ(nudge)」です。ナッジは「軽く押す」という意味で、開発したR.セイラー博士がノーベル経済学賞を受け、世界的に注目されています。直感の特性に合わせて行動へと繋げるには、どうすればよいのでしょうか?(次頁に続く)



テレビ番組などにもよくよく登場されている竹林さんは、いつでもどこでも津軽弁でナッジを語ります。穏やかでユニークな語り口が人気を博しています。

認知バイアスとは?

野生のゾウには習性があるように、心のゾウ(直感)にも認知バイアスという習性(直感による思い込み)があります。代表的な認知バイアスとして、4つ紹介します。

目の前の誘惑に弱い
現在バイアス

疲れていると、現状維持したくなる
現状維持バイアス

押しつけられたと感じると、反発したくなる
心理的リアクタンス

最初と最後に強い印象を持つ
初頭・終末バイアス

わかっているけど、それができない

促進要因のバイアス

阻害要因のバイアス

子どもに勉強してほしい場合は、ゲーム機やスマホを勉強部屋に持ち込ませないようにし、指導する場合は、夜よりも朝を選び、「この中で、どれがよい?」と本人に選ばせ、指導の最初と最後のメッセージをあらかじめ決めポジティブな印象に設計することで、相手に受け入れられ、行動に繋がる可能性が高まります。

青森県民にこそナッジを

竹林さんはナッジを使った健康づくりの研究を続けており、英語論文も多数執筆しています。例えば、大企業での定期健診受診率は100%近くですが、健診では「有所見」となった人のうち、二次検査を受けている人は半分程度です。重い健康リスクを抱えながら「別に今でなくてもいいかな」と目を背けている状況は、命に関わります。かと言って、制度上、本人に「すぐ病院に行かないとクビです」と命令することはできません。そこでナッジの出番です。「あなたは高血圧で引っかけたので、循環器内科を受診してください」と明確に指示したところ、受診率が2倍以上に高まりました。どうやら多くの人は「自分はどの診療科に行くべきなのか」探すのを面倒くさがっているようでした。その面倒を取り除くことで、受診した人が増えたのです。実験を重ねていくことで、ナッジの効果に説得力が出てきています。

竹林さんは「ナッジを使って、青森県民が自然に健康になる仕組みを作りたい」と願い、今日もナッジを語り続けます。

竹林 正樹

青森市出身。青森高校、立教大学経済学部、米国University of Phoenix大学院(MBA)、青森県立保健大学大学院修了(博士(健康科学))。「ホンマでっか!?TV(フジテレビ)」を始め、各種メディアでナッジの魅力を発信。代表作は「心のゾウを動かす方法」(扶桑社)、「介護のことにすると親子はなぜすれ違うのか」(GAKKEN)。

※「心のゾウを動かす方法」を抽選で2名様に差し上げます。詳しくは8ページをご覧ください。



定期健診の結果を受け、医師は _____ さんには、精密検査が必要と判断しました。2ヶ月以内の受診をお願いします。受診することで、最悪な事態を避けることに繋がります。受診日時を今決めて、 _____ へ報告をお願いします。

STEP 1 医療機関に予約する

<input type="checkbox"/> 血圧	循環器内科
<input type="checkbox"/> 心電図検査	循環器内科
<input type="checkbox"/> 肝機能検査	消化器内科
<input type="checkbox"/> 血中脂質検査	消化器内科
<input type="checkbox"/> 便潜血検査	消化器内科
<input type="checkbox"/> ビロリ菌検査	消化器内科
<input type="checkbox"/> 血糖検査	糖尿病内科
<input type="checkbox"/> 尿検査	糖尿病内科
<input type="checkbox"/> 貧血検査	血液内科
<input type="checkbox"/> 胸部X線検査	呼吸器内科
<input type="checkbox"/> 視力検査	眼科
<input type="checkbox"/> 聴力検査	耳鼻咽喉科

近隣にこの科がない場合は内科に相談ください

STEP 2 受診予定日を報告する(期限 月 日)
担当 _____

受診勧奨ハガキ

竹林さんのTED(様々な分野の著名人が「広める価値のあるアイデア」を共有する講演動画)での講演をぜひご覧ください。「心の中のゾウと仲良くなると、人は動く」(16分29秒)
https://www.ted.com/talks/masaki_takebayashi



〈単位認定〉

講座、講演会、教室等…1時間につき1単位
見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

これらの講座については中止・延期となる場合がありますので、事前に主催者までお問い合わせください。
※講座情報は「ありすネット」にて随時更新しています。

東青地区	講座名/内容	日時/場所	問い合わせ先
	青森市「被爆ピアノ平和コンサート」 ピアノ演奏、合唱、舞踏 他 料金:無料 申込不要	①10/16(木) 13:30~14:30 青森市平和公園 ②10/18(土) 10:00~11:30 青森市役所本庁舎 1階 サードプレイス ③10/18(土) 16:30~18:00 正覚寺 本堂	青森市「被爆ピアノ平和コンサート」実行委員会 TEL 080-3355-3890 FAX 017-776-7418 E-mail godlove1953@ybb.ne.jp
	青森中央学院大学まちなかキャンパス公開講座2025 「キャッシュレス決済と法 一使っているのに知らない!?キャッシュレスと法律の関係」 講師:柚原 愛子(経営法学部 講師) 対象:一般・高校生 定員:30名 料金:無料 申込方法:電話、メール	11/1(土) 14:00~15:30 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER	青森中央学院大学公開講座担当 TEL 017-728-0131 FAX 017-738-8333 E-mail koukaikouza@aomoricgu.ac.jp
	青森県立保健大学公開講座 「研究と実践〜ヘルスリテラシーの向上を目指して〜」 第3回「食生活と健康」 ①「マインドフル・イーティングと豊かな食習慣」 講師:千葉 綾乃(栄養学科 助教) ②「心も体もポカポカに!おかず味噌汁を毎日の食卓に取り入れよう」 講師:大野 智子(栄養学科 准教授) 定員:100名 料金:無料 申込方法:FAXまたはHPから申込み ※申込みは11/1(土)まで	11/8(土) ①13:10~14:10 ②14:25~15:25 青森県立保健大学 講堂	青森県立保健大学 キャリア開発・研究推進課 TEL 017-765-4085 FAX 017-765-2021
	男女共同参画フェスティバル2025 アピオあおもり 秋まつり 料金:無料	11/23(日・祝) 9:30~15:30 アピオあおもり	青森県男女共同参画センター アピオあおもり TEL 017-732-1085 FAX 017-732-1073
	青森県立郷土館 土曜セミナー 「明治期における交通史 東京ー青森間の鉄道開業について」 講師:佐藤 良宣(青森県立郷土館職員) 定員:40名(先着順) 料金:無料 申込不要	12/20(土) 13:30~15:00(受付:13:00~) 青森県総合社会教育センター 4階 第2多目的研修室	青森県立郷土館 TEL 017-777-1585
上北地区	講座名/内容	日時/場所	問い合わせ先
	とわだ市民カレッジ 「ガッテン流!リバウンドしないダイエット法」 講師:北折 一(元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクター) 料金:無料 申込方法:電話、FAX	11/4(火) 表彰式 14:00~ 14:20~16:30 十和田市民文化センター 生涯学習ホール	十和田市教育委員会 スポーツ・生涯学習課 TEL 0176-58-0186 FAX 0176-24-3954
	駒っころんど特別展「第21回ちびっこ馬の絵コンテスト」作品展 料金:駒っころんど称徳館入場料として 一般310円(250円)、 高校生・大学生105円(84円)、中学生以下無料 ※()内は団体料金	10/4(土)~11/30(日) 9:00~16:30(最終入館 16:00) 駒っころんど 称徳館 企画展示ホール	十和田市馬事公苑 称徳館 TEL 0176-26-2100
	おいらせの学びカレッジ 「脳を知り、脳を育み、脳を守る」 〜子どもの脳発達促進から認知症予防まで〜 講師:川島 隆太(東北大学 加齢医学研究所 教授) 定員:290名 料金:無料 申込不要	11/14(金) 開場:18:10 講演:18:30~20:00 おいらせ町民交流センター 小ホール	おいらせ町教育委員会 社会教育・体育課 TEL 0178-56-4276
下北地区	講座名/内容	日時/場所	問い合わせ先
	「下北美術展」高校・一般の部 展覧会 料金:無料	10/9(木)~10/19(日) 9:00~17:00 むつ市中央公民館	むつ市中央公民館 TEL 0175-24-1224

三八地区	講座名/内容	日時/場所	問い合わせ先
	八戸市民大学講座 「エンタメに込めたメッセージ ～ちいさな『はて?』を、チカラに変えて～」 講師：吉田 恵里香(脚本家、小説家、連続ドラマ小説『虎に翼』脚本家) 料金：無料 申込不要	10/24(金) 18:30～20:00 SG GROUPホールはちのへ (八戸市公会堂文化ホール)	八戸市教育委員会 社会教育課 TEL 0178-43-9154
	オドラデク道路劇場 ～はっせんの蔵 公演～ ①「蔵の時間」 定員：120席限定 料金：一般 3,000円(1ドリンク付)、学生(高校生・大学生・専門学生)1,500円(要学生証) 申込方法：電話、FAX、メール	① 10/25(土) 16:00開演(15:30開場) 八戸酒造 北蔵	青森ダンスエクスペリエンスの会 (担当：福士) TEL 090-2983-0446 FAX 017-766-8009 E-mail odoradeku.aomori@gmail.com
	②「まちの記憶」 料金：無料(おひねり制) 申込不要	② 10/26(日) 13:00～(12:30受付開始) 八戸市小中野新丁界限 (野外・移動型公演)	
	南部ふるさと塾 戦国大名南部氏と糠部の駿馬「天下人・歴代徳川将軍と南部馬」 講師：兼平 賢治(東北学院大学 教授) 料金：100円 ※南部町民無料 申込不要	11/8(土) 13:30～15:30 南部町立町民ホール 「楽楽ホール」	南部町社会教育課 TEL 0178-38-5969
	共に学び、生きる共生社会コンファレンスinあおもり ①基調講演「生涯学習とは/”障がい者の学び”から”私たちの学び”へ」(仮) 講師：津田 英二(神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授 文部科学省障害者の生涯学習推進アドバイザー) ②シンポジウム「共に学び、生きる」を実現するため、私にできることを考えよう 申込方法：電話、メール、ホームページに掲載のチラシの二次元コードから	11/10(月) 11:00～16:00 ①13:20～14:10 ②14:25～15:55 八戸ポータルミュージアムはっち	青森県教育庁生涯学習課 企画振興グループ TEL 017-734-9889 E-mail E-SHOUGAI@pref.aomori.lg.jp
	シニアいきいき教室(介護予防教室) 「食事の質が変わる!栄養バランスまるわかり講座」 講師：介護予防センター 管理栄養士 定員：18名 料金：無料 申込方法：電話 ※申込受付は11/25(火)～	12/22(月) 13:30～14:30 介護予防センター 八戸市総合保健センター2階	介護予防センター TEL 0178-38-0726

中南地区	講座名/内容	日時/場所	問い合わせ先
	弘大カフェ 太宰ブレイク ～太宰短編ドラマリーディング体験会～ 料金：無料 申込方法：QRコードから事前申込フォーム ※当日飛び入り参加可	11/8(土) 15:00～17:00 弘大カフェ (弘前大学 太宰治記念小公園)	アマチュア声優劇団 津軽カタリスト (代表：平田) TEL 090-3123-3861
	弘前市立郷土文学館 北の文脈文学講座 「歌人福井緑の生涯と作品」 講師：福井 次郎(文筆家) 定員：25名 料金：文学館の入館料として 一般100円、小・中学生50円 ※65歳以上の市民、市内の小・中学生や障がい者、外国人留学生は無料 申込方法：電話 ※申込受付は10/15(水)9:00～	11/15(土) 14:00～15:00 弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ	弘前市立郷土文学館 TEL 0172-37-5505
	「新収蔵資料展」 講師：櫛引 洋一(企画研究専門員) 定員：25名 料金：文学館の入館料として 一般100円、小・中学生50円 ※65歳以上の市民、市内の小・中学生や障がい者、外国人留学生は無料 申込方法：電話 ※申込受付は11/20(木)9:00～	12/20(土) 14:00～15:00 弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ	

西北地区	講座名/内容	日時/場所	問い合わせ先
	見え方で困っている人のための展示・体験・相談会 愛・Eye ライブラリー	10/4(土) 10:00～15:00 イオンモールつがる柏 1階 シャコちゃんコート	青森県立盲学校 ロービジョン相談支援センター TEL 017-726-2239
	放送大学青森学習センター公開講演会 「家庭・学校でできる応急処置の基礎と実践」 講師：清水 真由美(弘前大学教育学部 助教) 定員：20名 料金：無料 申込方法：電話	11/15(土) 13:30～15:00 つがる市立図書館 セミナー・学習室	つがる市立図書館 TEL 0173-25-3131

ボランティア講師による自主講座
※参加無料(材料費は自己負担)・要申込
講座についての詳しい情報は、事務局へお問い合わせください。 県総合社会教育センターで開催されます。
四季折々のものづくり講座 講師：川口 松子 ① 10/4(土) 10:00～12:00 干支押絵 ② 11/8(土) 10:00～12:00 クリスマス飾り ③ 12/6(土) 10:00～12:00 しめ縄飾り 対象：一般女性 材料費：各回1,000円程度 持ち物：はさみ、持ち帰り用袋 ※予定人数に達しましたので、キャンセル待ちとなります。
韓国講座第3弾!話したい!知りたい!大好き韓国! 講師：三浦 邦良、裴 珠英 ① 10/4(土) ②11/22(土) ③11/29(土) ④12/6(土) 各 10:00～11:30 対象：県民一般 持ち物：筆記用具
元気に長生き 発明ひらめき講座 講師：川村 久美子 ① 10/10(金) ②11/7(金) 各 10:30～12:00 対象：60歳以上の方 持ち物：筆記用具
イライラしない子育て講座 講師：蒔田 登紫行 ① 10/4(土) ②11/29(土) 各 10:30～11:30 持ち物：筆記用具
大人のためのリトミック講座 講師：堀内 明子 ① 10/15(水) ②11/12(水) ③12/10(水) 各 10:00～11:00 対象：概ね60歳代から 持ち物：動きやすい服装、動きやすい靴、飲み物
遠州流茶道講座 講師：関 晃子 ① 10/16(木) ②11/20(木) ③12/18(木) 各 14:00～17:00 材料費：各回800円 持ち物：ふくさ、扇子、懐紙、楊枝 (お持ちでない方はお申込みの際にお知らせください。)
体幹ストレッチ講座 PART2 講師：和田 莖美子 ① 10/18(土) 13:30～14:30 ② 11/10(月) 10:30～11:30 対象：一般女性 持ち物：ヨガマット(敷物)、動きやすい服装、運動靴、汗拭きタオル、水分補給飲料
世界文学へようこそ 講師：奈良岡 有 ① 11/4(火) ②11/11(火) ③11/18(火) ④11/25(火) ⑤ 12/2(火) 各 13:00～14:00 持ち物：筆記用具
自分が飲んでいる薬の基礎講座 講師：町屋 宗邦 ① 11/8(土) 14:00～15:00 持ち物：お薬手帳または薬剤情報提供書(くすりのしおり等)

学び・生かすあおもりグループ 自主事業	※当日申込可(一部事前申込必要) ※県総合社会教育センターで開催されます。
太極拳&リフレッシュ健康体操 講師：長内 真理 他 10/11(土)、11/8(土)、12/20(土) 各 10:00～11:00 対象：小学生以上 ※小学生は保護者同伴で参加ください。 受講料：各回500円 持ち物：ヨガマット(お持ちで無い方には無料でお貸しいたします。) 動きやすい服装	当日申込可
あおもりEcafe 講師：江口 真理、鎌田 以都子 10/11(土)、11/8(土)、12/20(土) 各 14:00～15:00 対象：高校生以上 受講料：各回500円	当日申込可
りんごの木を育てる講座「りんごのお菓子作り教室」 講師：山谷 詠子(青森市食生活改善推進委員会 会長) 12/13(土) 10:00～12:00 対象：県民一般、親子での参加も大歓迎 受講料：材料費として 1人 700円 持ち物：エプロン、三角巾、持ち帰り用容器	要申込
大学公開講座「ストレスを抱えた子どもの理解と対応～学校・家庭・地域における望ましい支援のあり方～」 講師：藤江 玲子(弘前大学教職大学院 准教授) 12/6(土) 13:30～15:00 対象：県民一般	要申込

地域キャンパス講座 県内6地区で開催	※受講料無料・要申込
地域色豊かな講座や専門的な講座を開催し学習の機会を提供します。 あおもり県民カレッジ学友会や市町村等と協力・連携しています。	
東青地区	フェイスペインティング体験講座 講師：石岡 有佳子(artstudio tete 代表) 10/12(日) 11:00～12:30 カクヒログループアスレチックスタジアム 1階コンコース
西北地区	防災気象情報の利活用について ～大雨・地震・津波から身を守るために～ 講師：今泉 聡(青森地方気象台 気象情報基準評価係長) 丹原 裕(青森地方気象台 火山防災調整係長) 10/15(水) 10:30～12:00 五所川原市市浦コミュニティセンター モルックで仲間づくり!!&脳トレ効果に期待できます 講師：八戸 由美子(一般社団法人日本モルック協会指導員) 10/15(水) 13:30～15:00 五所川原市市浦コミュニティーセンター 進化する特殊詐欺!心当たりがあったら注意 ～あなたを狙う特殊詐欺とは～ 講師：青森県消費生活センター 10/17(金) 13:20～14:50 五所川原市金木総合支所 北欧生まれのモルックを体験しよう 講師：八戸 由美子(一般社団法人日本モルック協会指導員) 12/12(金) 13:20～14:50 五所川原市金木公民館 和室
中南地区	映画鑑賞会「奥様は魔女」 11/12(水) 10:00～11:20 ヒロロスクエア 多世代交流室 2
上北地区	健康体操「百まで長生き」 講師：中村 真由美(介護予防指導士) 11/19(水) 10:30～12:00 横浜町ふれあいセンター
下北地区	楽しくラクに速く読む「楽読」体験レッスン 講師：井上 一幸 田辺 弘典(楽読あおもり弘前スクール) 11/8(土) 13:30～15:00 下北文化会館 マルチルーム5・6 川辺に花を、水辺に命を～植物が守る私たちの環境～ 講師：山上 睦(農学博士 環境科学研究所シニアスタッフ) 11/16(日) 13:30～15:30 下北文化会館 マルチルーム5・6
三八地区	映画鑑賞会「ハチとバルマの物語」 11/7(金) 13:30～15:30 八戸ポータルミュージアムはっち シアター2

講座受講生の声



「多様な学びの場づくりを探る講座」の様子

◆地域キャンパス講座◆
 「多様な学びの場づくりを探る講座」
 (令和5~6年度)を受講
 元不登校の当事者の親として不登校や生きづらさを感じている子どもたちの安心できる居場所を増やしたいという思いで、2か年にわたり開催された県民カレッジ地域キャンパス講座「多様な学びの場づくりを探る講座」に参加しました。
 講座では、オルタナティブスクール、定時制高校、夜間中学など、多様な学びの場それぞれの特徴について詳しく学ぶことができました。また、グループワークでは、不登校が増えている要因や公教育の行き詰まり、学校や福祉の分野との連携の難しさなど様々な角度からの意見交換ができました。そして、学ぶことはどんな人にも与えられた権利であるということ、学びと居場所の大切さを共有できました。特に「自主夜間中学」には学びへの強い情熱と学びの自由度があること、学びたい人が一人でもいてそれを支える人がいれば、すぐにもつくる事ができることも知りました。

こうして、講座後の事務局からの働きかけもあり、今年2月、本県初の自主夜間中学「あおも・リラ」を立ち上げることにしました。運営スタッフとして常に心がけているのは、学びの伴走者として、過度になりすぎないコミュニケーションと配慮を忘れず、利用者さんの学びたいという思いを尊重し、安心できる居場所とするための環境づくりです。
 学びたいという思い一点で集まる「あおも・リラ」の利用者さんの姿はともまぶしく、様々な事情や背景がありながらも、学びたいことを自分で選択し、自分のペースで学び、それを継続できていることが素晴らしいと感じています。また、世代の違う利用者の皆さんが、同じ空間で学ぶことも、学びへの意欲の刺激となっていて共感に感じます。世代を超えて共にレクや会食をすることで、新たな関係性が生まれていることから、人との関わりを持つことの大切さを学んでいます。こうした関わり方ができるのも、「多様な学びの場づくりを探る講座」を受講したからだと思います。



自主夜間中学「あおも・リラ」の様子

◆ボランティア講師による自主講座◆
 「チョックンマン(少しだけ)韓国に詳しくなろう講座」
 「ドゥ(もっと)韓国に詳しくなろう講座」(令和6年度)を受講
 韓国に少し興味があったので、県総合社会教育センターでチラシを見つけて参加してみました。前半の講座では、最初はハンブルで自分の名前を書いたり、時間や物の数え方を覚えたりしましたが、なかなか難しかったというのが正直なところですが、最後の30分は、韓国の文化や見どころについて、講師やコーディネーターである市の国際交流員の先生や留学生の話聞いて、面白く感じ、興味が沸きました。2回目の講座では、映画やドラマなどが話題になりました。その中で朝鮮王朝の王を取り上げた映画や有名俳優の恋愛ドラマに興味をもち、DVDを借りて鑑賞し、それだけでは飽き足らず、現代の韓国を風刺した映画を鑑賞するために映画館へ出かけたりもしました。講座では、自分の好きなドラマの名場面を解説しながら、映像でみなさんに紹介しました。



「ドゥ(もっと)韓国に詳しくなろう!講座」の様子

自主夜間中学「あおも・リラ」の立ち上げと運営に携わる 山田千里さん

韓国への興味関心を高めている 藤森正光さん

まだまだいろいろなことを知りたいので、青森市で行っている韓国に関する講座にも進んで参加しています。(今年度秋に予定されているセンターでの講座にも参加します。)
 今は、韓国語で挨拶したり、物を数えたりすることができるようになりました。講座の中で参加者と韓国の話をし、韓国という国を身近に感じるようになり、また、見方も広がってきているように感じます。韓国についての私の興味関心はこれからも高まっていきたいと思います。

学びの成果を生かして

映画鑑賞会のお知らせ

11/8(土)
 サンタクロースになった少年
 (2007年 フィンランド 80分)



2階大研修室
 開演13:30~(開場13:00)
 定員150名 申込不要
 入場無料
 隔月(奇数月)開催

1階展示スペース
 「ギャラリーありす」

10月
 黒石市ひょうたん倶楽部
 「飾りひょうたん」作品展



11月
 「四季折々のものづくり講座」
 受講者による作品展(予定)
 12月の展示については調整中です。

2階展示スペース
 「画伯のたまご」

10/2(木)~10/28(火)
 幼保連携型認定こども園 すぎのこ幼稚園
 「ハロウィン」をテーマに制作した作品展
 「ハロウィンを楽しもう」

11/1(土)~12/23(火)
 青森県立八戸高等支援学校 作品展
 美術や作業学習の授業で制作した作品を展示。

階段
 ギャラリー

10/1(水)~11/30(日)

長谷川美恵子 鉛筆画展 一心に響いたものー
 鉛筆の硬さや筆圧の加減によって多様な陰影が魅力的です。
 時間をかけて丁寧に描かれた作品。



12/2(火)~1/31(土)
 サイトウパピコ 「てんをてらす」

アポリジニアートの世界観に惹き込まれ、独自で手法を学び
 ドットアートを創作した作品。



※12/7(日)サイトウパピコさんによるドットアート教室
 (初級編)を開催予定! 受講申込みなど詳しいことは
 ホームページでご確認ください。

休所日のおしらせ

10月13日(月・祝)、27日(月)
 11月3日(月・祝)、23日(日・祝)、24日(月)
 12月22日(月)、29日(月)~1月3日(土)